

A04 地方債制度	
平均所要時間	40 分程度
対象業務	財政、起債、地方公会計、一般会計各事業、公営企業各事業
難易度	★☆☆
学習の目的	・地方債とはどのようなものかについて、地方公共団体が地方債を起こすことができる場合や地方債の機能等を学ぶことにより理解する。 ・地方債が、許可制度から協議制度へ移行した背景や協議制度の内容等について理解し、協議制度の下で、量的基準である地方債計画や質的基準である地方債同意等基準が策定・公表されていることを学ぶ。 ・地方債によって資金を調達するには、地方債が確実に償還されるという信用の維持が不可欠であり、信用維持に当たっては、国による制度的な対応はもちろん、個別の地方公共団体における対応も重要であることを学ぶ。
前提知識	特になし
学習目標	「学習の目的」を理解した上で、業務において活用する。
コース構成	CHAPTER1 地方債とは [10:37] 地方債とは / 地方債を起こすことができる経費 / 地方債の機能 / 地方債資金の分類 / 議会の議決の必要性 CHAPTER2 地方債協議制度 [10:38] 地方債発行手続の変遷 / 協議制度での地方債発行手続 / 協議制度での地方債の扱い / 地方債の届出制度 / 実質公債費比率と起債の届出・協議・許可の関係等 CHAPTER3 地方債計画・地方債同意等基準等 [10:51] 地方債計画 / 地方債計画とその他の計画の関係(令和4年度) / 地方債計画(通常収支分・令和4年度) / 地方債同意等基準等 CHAPTER4 地方債の信用維持 [4:41] 地方債の信用維持の仕組み 地方債制度について(まとめ) [3:54]